

公共スプラッシュパッドの再開手順

最近の更新:

2020/6/29: 症例のクラスターを公衆衛生局に報告することに関する詳細を追加しました。

2020/7/8: 従業員の休暇給付金に関する情報が追加されました。

ロサンゼルス郡公衆衛生局は、科学と公衆衛生の専門知識に基づく段階的アプローチを試みています。これは、スプラッシュパッドを安全に再開および使用するためのカリフォルニアのロードマップにも準拠しています。

遊園地内にあるスプラッシュパッドは、変更または完全な運転を再開できるようになるまで引き続き閉鎖されます。

本ガイダンスの対象となるすべてのプールのスプラッシュパッド運営者は、公共プールの再開手順に関連するセクションに加えて、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されない理由を説明する必要があります。

注: 本文書は、追加情報やリソースが入手され次第更新されることがあるため、定期的にロサンゼルス郡のウェブサイト <http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/> をアクセスして、本文書が更新されていないか確認してください。

本チェックリストの内容

- (1) 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践
- (2) 物理的距離を確保するための対策
- (3) 感染防止対策
- (4) 従業員および市民とのコミュニケーション
- (5) 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

施設が再開手順に取り組む際、これら5つの重要点を考慮する必要があります。

本ガイダンスの対象となるすべての企業は、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されていない理由を説明する必要があります。

事業名: _____

施設住所: _____

投稿日: _____

A. 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践（施設に該当するものをすべて選択）

- 在宅勤務で職務を果たせる従業員には、在宅勤務が指示されている。
- 脆弱なスタッフ（65歳以上、慢性疾患のある人）には、可能な限り在宅勤務で行うことができる作業が割り当てられている。
- すべての従業員に、病気のときは出勤せず、該当する場合は公衆衛生局のガイダンスに従い自己隔離を行うよう指示する。
 - 訓練を受けた補填用従業員の名簿を作成する。
 - 従業員には、受給資格があれば経済的に自宅待機しやすくなるよう、雇用者または行政が提供する休暇給付金に関する情報が提供されている。[ファミリーファーストコロナウイルス対策法](#)に基づく従業員の病気休暇の権利、労災補償給付金における従業員の権利、および[州知事令N-62-20](#)に基づくCOVID-19の労働関連の推定を含む、[COVID-19における病気休暇および労災補償を支援する行政のプログラム](#)に関する追加情報を参照する。
- 一名以上の従業員がCOVID-19（症例）について陽性反応を示した、または症状が一貫していると通知を受けた際、雇用主は症例を自宅隔離させ、職場で症例に曝露したすべての従業員の自主検疫を即時行う計画や手順を整備している。雇用主の計画では、追加のCOVID-19管理対策が必要となる可能性のある追加の職場での曝露があったかどうかを判断するために、すべての検疫中の従業員がCOVID-19検査にアクセスがあるかまたは受けられる手順を検討する。[職場におけるCOVID-19への対応](#)に関する公衆衛生局のガイダンスを参照している。
- 職場内で3件以上の症例が確認された場合、雇用主はこの発生を公衆衛生局、(888) 397-3993 または(213) 240-7821に報告する。クラスターが現場で特定された場合、公衆衛生局は、クラスターへの対応を開始し、感染対策のガイダンスと推奨事項、技術サポート、およびサイト固有の対策を提供する。公衆衛生局のケースマネージャーがクラスターの調査として配属され、施設の対応を指導する。
- 従業員が職場に入る前に[職員に対する検査](#)が行われる。検査は咳、息切れ、呼吸困難、発熱や寒気に関する症状確認を含み、さらに14日間以内にCOVID-19に感染している人物と接触したかどうかを確認する。これらの検査は従業員の出勤時に直接、又は遠隔操作で行う。可能な場合は職場での検温も行う。
- 勤務中に一般市民または他の従業員と接触するすべての従業員に、無料で鼻と口を覆う布製フェイスカバーを提供する。勤務中に他者と接触する、または接触する可能性のある従業員は常時フェイスカバーを着用する。医療供給者からフェイスカバーを着用しないよう指示された従業員は、個人の状況が可能とする限り州の指示に準拠するよう、下部にドレープの付いたフェイスシールドを着用する。顎の下にぴったりと合うドレープが好ましい。一方向弁付きのマスクの着用は禁じられる。従業員がプライベートオフィスや、身長よりも高い仕切りのある作業スペース内に一人である場合は、フェイスカバーの着用は必要ない。
- 従業員には、フェイスカバーを毎日洗濯するよう指示する。
- 従業員の水の中での布製フェイスカバーの着用は必要ない。
- 休憩室で、常に従業員の間で6フィートの距離を保てるよう、休憩時間をずらす。
- 常時マスクを正しく着用するために、指定された場所以外での従業員の飲食を禁ずる。
- 従業員が利用できる消毒剤および関連用品は以下の場所に常備する。

従業員が利用できるCOVID-19に対して効果的な手指消毒液は以下の場所に常備する。

従業員は手を洗うため、頻繁に休憩をとることが許可される。

各従業員に本手順のコピーを配布する。

オプション - その他の対策の説明：

B. 物理的距離を確保するための対策

- スプラッシュパッド機能の現在の使用制限を表示し、利用者が同一世帯以外の人から物理的に6フィートの距離をできるだけ確保できるように促す。36平方フィートのスプラッシュパッドエリアあたりに1名の利用者の比率を使用すると、利用者人数制限の判断に役立ちます。
 - スプラッシュパッド平方フィート: _____ 36平方フィートあたり利用者1名から計算される最大利用者数: _____
 - スプラッシュパッドの利用への予約制の実装を検討する。
- 指定された担当者が、上記のスプラッシュパッド利用者の最大収容人数を超過しないように監視および確認する責任を持つことが推奨される。指定された人物は、すべての暫定ガイドラインが毎日遵守されていることも監視する。また、子供たちが物理的距離を確保し、水の中にいない3歳以上の子供が布製フェイスカバーを着用するように保護者に指示を促す看板を掲示する。
- 物理的距離を確保するために、スプラッシュパッドへの入場を待つ間、マーキングまたはその他の方法を用いて、利用者が列に並んで待機するようにする。
- 適切に監視できるように、スプラッシュパッドの稼働時間を設定する。
- 人の出入りをコントロールするためにスプラッシュパッドエリアを囲む仕切りを利用する。
- 人が集まるのを防ぐために、スプラッシュパッド内の座席エリアは除去または使用できないようにする。
- 社会的距離を確保するための措置（利用者は、同居する以外の人とは少なくとも6フィートの距離を確保する）が実施されている。
- 更衣室やトイレは、一度に中に入る人数が適切な物理的距離を確保できるように監視する。
- スプラッシュパッドを含むすべての公共エリアでの、同一世帯以外のパーティーや集会は禁止されている。

C. 感染防止対策

- [EPA承認のリストNの消毒剤](#)が水系施設に最適かどうかを判断するために、施設を設計した会社またはエンジニアに相談する。
- 塩素レベルは1時間ごとに、PHレベルは1日に2回、または必要に応じてより頻繁に検査する。水質は最低推奨値を超える必要がある。

- 稼働していない施設の場合は、再開する前に5分間温水器具と冷水器具を通水して、施設の配管内の古い水を新鮮で安全な給水に置換する。
- 頻繁に触れる物の表面と共有する備品を使用の度に、清掃と消毒する計画を実装する。EPA承認の消毒剤を使用する。定期的な清掃および消毒のスケジュールは以下の通り。
 - ドアノブやトイレ、手洗いステーション、おむつ交換ステーション、シャワーの表面 _____
 - 共用施設（ロッカーなど） _____
 - トイレとシャワー _____
 - その他 _____
- 洗浄と消毒のために、必要に応じてエリアを閉鎖する。
 - ゴミや破片を除去し、エリアを掃除する。潜在的な危険性は調査して報告する。
 - すべての排水口にゴミ、岩、ガラス、その他の異物がないことを確認する。
- 施設内に入る際にゲストは、施設内では常時（飲食時を除く）フェイスカバーを着用することを促される。これは大人と2歳以上の子供すべてに適用する。医療供給者によってフェイスカバーを着用しないよう指示された個人のみ、フェイスカバーの着用を免除される。従業員と訪問者全ての安全を確認するため、フェイスカバーを持たない訪問者が利用できるフェイスカバーを用意する。
- 水中にいるときは、布製のフェイスカバーを着用する必要はない。
- スプラッシュパッドにゲストが入る前に症状確認が行われる。この確認は、咳、息切れ、呼吸困難、発熱または寒気に対する検査を含む。これらの症状確認は直接、又はオンライン症状確認などの代替方法や、これらの症状を持つ訪問者の入場を禁じるという施設入口の標識によって行われる。
- 公衆衛生をサポートするために十分な衛生用品を確保する。衛生用品には、石鹸、アルコール濃度60%以上の手指消毒剤、ペーパータオル、ティッシュ、および居住者が利用できるゴミ箱が含まれる。
- 水飲み場は覆いをかぶせて、使用できないようにする。
- 各自、自分の飲食物を持参し、家族以外の人とそれを共有しない。
- 水鉄砲など、子供が使用する頻繁に触れる遊具は、閉鎖、カバーを取り付ける、または除去する。
- スプラッシュエリア内またはその周辺では、個人用の水遊びのおもちゃは、いかなるときも許可されない。
- スプラッシュパッドに持参したアイテムは、家族以外の人と共有しない。
- 各自、自分のタオルをスプラッシュパッドに持参し、家族以外の人とタオルを共有しない。

D. 一般市民とのコミュニケーション対策

- 本手順のコピーを、スプラッシュパッド施設のすべての公共の入口に掲示する。
- スプラッシュパッド施設の各公共の入り口に標識を掲示し、利用者に以下の内容を通告する。
 - 病気の場合、またはCOVID-19と一致する症状がある場合は外出しない。

- 可能な限り、同一世帯以外の人から 6 フィートの社会的距離を保ち、スプラッシュパッド内で不必要な身体的接触を行わないようにする。保護者は、これらの推奨事項に準拠できるように子供をサポートする。
- スプラッシュパッドに入る際にこまめに手を洗う、または手指消毒剤を使用する。
- 公共エリアからスプラッシュ・パッドや共有トイレとの行き来を含む、公共施設内を移動する際に、フェイスカバーを着用する。子供がスプラッシュパッドに入るときは、布製フェイスカバーを外すように促す。

E. 重要なサービスへの公平なアクセスを確保するための対策

- 顧客・居住者にとって重要なサービスを優先する。
- 移動が制限されている、または公共スペースにいることで病気にかかるリスクが高い顧客のための商品およびサービスへのアクセスを保証するための対策を講じる。

社会的距離措置および施設や表面の消毒手順に関する米国疾病予防管理センターのガイダンスは、<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/php/water.html> をご覧ください。